

実習科目	単位	時間数	対象学年	単位認定者
成人看護学実習Ⅲ	2 単位	90 時間	3 年次	田中 紀代美

実習概要

疾患に対する積極的治療が困難な状態となった対象を理解し、その対象に対する看護を実施できることを目的とする。対象が死へと向かう短期的、長期的な時間の流れの中にあって自分らしく生きるために全人的な援助ができること。また、全人的な援助を行うためにどのような体制が取られておりその中での看護師の役割を理解出来ることをねらいとする。

科目目標

回復の見込がない対象を理解し、その人らしい生を全うできるように、苦痛の緩和や QOL の尊重についての看護を個人及び家族に実践する能力を養い、自己の死生観を深める。

実習計画

実習場所・時間	内容及び方法
NHO 熊本医療センター 6 階南病棟 7 階西病棟 のうち 1 か所 90 時間	積極的治療が困難な状態となった対象の身体的・精神的・社会的問題を把握して QOL の維持向上その人らしい生を全うできるように支援する。回復の見込みがない対象の苦痛は複雑に関連し合っていることが多いため、苦痛の要因を抽出し、生活歴、家族背景などの対象の生活や全人的苦痛に影響している因子、経過による対象のその人らしさが低下する原因等を捉える。さらに、自分の行った日常生活援助を中心とした看護のみでは看護の意義を実感できないため、対象やその家族のイメージ化や抱えている苦痛を理解する。さらに、専門的緩和ケアとの連携により対象への援助の質がどのように変化しているかの理解を支援することで人生の終焉を迎える対象やその家族への QOL 維持向上に向けた看護実践を行う。
備考	